

## 『新今金町史』目次構成

第1巻 今金町の成り立ち	260 p
巻頭カラー図版、発刊の辞	8 p
総説・概説	4 p
第1編 自然環境	
第1章 今金町の位置と周辺の地形（寺崎）	6 p
第2章 今金町の成り立ち（能條 歩氏）	30 p
第3章 ピリカカイギユウとその他の化石（能條）	10 p
第4章 気候（寺崎）	6 p
第2編 先住の人々（寺崎）	
第1章 旧石器時代	40 p
第2章 縄文時代からアイヌ文化時代	6 p
第3章 砂金採掘跡とカニカン岳金山跡	10 p
第3編 史料でたどる今金町（寺崎）	
第1章 江戸時代	30 p
第1節 津軽一統誌	津軽藩 1731年
第2節 松前蝦夷記	著者不詳 1717年頃
第3節 北海随筆	坂倉源次郎 1739年
第4節 報登宇志辺津日誌	松浦武四郎 1857年
第5節 東蝦夷日誌 初編	松浦武四郎 1859～1865年
第6節 金子家文書	金子勘三郎 1860～1866年
第2章 明治時代	110 p
第1節 博士ブレイキ報文	W・P・ブレイク 1871年
第2節 北海道金田地方報文	H・S・マンロー 1875年
第3節 青江理事官諮問回答書、北海道巡回紀行	1886年
第4節 天沼家文書	
第5節 今村家文書	
第6節 美利河マンガン関連史料	

第3巻 今金町のあゆみ (写真と年表で振り返る)	280 p
巻頭カラー図版、発刊の辞	8 p
凡例	2 p
地質～先史時代	4 p
古代	4 p
中世	8 p
近世	16 p
近代	38 p
現代	200 p